

東奥日報
2019年(令和元年)6月9日(日曜日) (12)

小坂谷教授(八工大)東北文化奨励賞

インテリジェント・コスモス財団

三味線の自動採譜を評価

八戸

八戸工業大学大学院の小坂谷壽一教授(66)が「伝統音楽(津軽・南部三味線)保存用自動採譜装置の研究開発」で、第1回インテリジェント・コスモス東北文化奨励賞を受賞した。小坂谷教授は「多くの人の協力があったこそ」と感謝を述べた。(山谷佳澄)



自動採譜装置で「インテリジェント・コスモス東北文化奨励賞」を受賞した小坂谷教授

同賞は、科学技術の推進事業などを行っているインテリジェント・コスモス学術振興財団(仙台市)が創設。新潟を含む東北地方にある大学などの研究機関に在籍、または過去に所属した個人やグループを対象とし、「東北が生み出した先見性のある文化を体系化して内外に発信する活動」に贈られる。

小坂谷教授は、伝統文化を確実に継承していくため、10年ほど前から、三味線の曲を自動的に西洋譜や三味線譜に起こす装置の開発、改良を続けてきた。現在は平易な曲で100%、難易度の高い曲でも80〜90%の採譜率を実現できる。邦楽音楽は、口伝による

継承が大半で、継承者の高齢化により、記憶とともに曲や文化が消えてしまう危機にある。同装置は、曲を譜面化することで、後世に正しく引き継ぐことを可能にした。小坂谷教授は、同装置で作成した譜面を教育機関に寄贈するなどの活動をしているが、今後は東南アジアの民族音楽の保存活動にも意欲を示している。